2026.10.7
尼崎市総合計画審議会
第2回第２分科会
資料第２号

施策 05　地域福祉

＜施策がめざす状態＞

誰もが互いを尊重し、共につながりささえあい、安全・安心に暮らしています

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**「ささえあい」の人づくり・地域づくりの推進**
めざす状態	市民や事業者等が協働し地域課題の解決に取り組み、ささえあう地域となっています。
取組項目	＃福祉学習の推進　＃地域福祉活動への参加促進　＃地域を支えるネットワークづくり ＃地域の見守り・ささえあいの充実
施策の方向性(2)	**包括的な相談支援の推進**
めざす状態	制度に基づいた支援やさまざまな地域資源と連携した伴走支援により、誰もが地域で孤立することなく、安心して暮らしています。
取組項目	＃重層的支援の推進　＃高齢者等の権利擁護の推進

「担い手」が残っている

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ 【地域福祉活動への参加促進】市民活動団体や学生等の地域福祉活動を促進し、さまざまな取組が地域で展開されてきました。一方、活動の担い手は固定化・高齢化が進んでいるため、若年層や働く世代を含めた多様な主体の参画に向け、福祉学習の機会の充実や地域活動の情報発信に一層取り組む必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【多様な主体の協働】地域を支えるネットワークづくりのため、さまざまな分野の支援者の参画を進めました。分野横断的な協働の促進やネットワークの維持に向けては、引き続き、多様な主体が地域活動に参加しやすい環境づくりを進めるとともに、身近で関心の高いテーマを切り口とした協働の取組を促進する必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【ささえあいの地域づくり】地域における顔の見える関係づくりや、住民等の発意による地域課題の解決や魅力向上に向けた取組が広がる環境づくりを進めました。引き続き、地域住民同士のささえあいの取組を促進するとともに、子どもや高齢者、課題を抱える当事者等がそれぞれの役割を持ちながら活躍できる仕組みづくりを一層進めていく必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【重層的支援の推進】複雑・複合化したさまざまな福祉課題に対応するため、包括的な相談支援を推進してきました。引き続き、包括的な相談支援を担う人材の育成や支援関係機関等の連携意識の醸成に取り組むことで、公的支援と地域でのささえあいによる伴走支援を一層進める必要があります。（施策の方向性(2) ）

○ 【頼れる身寄りのない高齢者等への支援】頼れる身寄りのない高齢者等の増加が見込まれる中、日常生活支援や入院・入所手続、死後事務への対応や、判断能力が不十分な高齢者や障害者への意思決定支援などが必要とされています。全ての高齢者等が不安なく暮らし続けられるよう、関係機関と連携を図りながら、これらに対応する仕組みの構築に向けた検討を進める必要があります。（施策の方向性(2)）

・中間支援についての言及、
・村社会から家族のカタチの変化、個人主義化という流れと、
　自治のまちづくり地域課との関係が表現できていない
（松原）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「地域で住民同士がささえあっているまち」だと感じる市民の割合

基準値 ○○.○%（R8） 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	**「ささえあい」の人づくり・地域づくりの推進**		
代表指標	「困りごとを抱える人がいれば、声をかけたり、支援につなぐなど何か手助けをする」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(2)	**包括的な相談支援の推進**		
代表指標	「生活上の困りごとがあれば、必要な支援につながることができるまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策05 地域福祉 補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	誰もが互いを尊重し、共につながりささえあい、安全・安心に暮らしています	「地域で住民同士がささえあっているまち」だと感じる市民の割合。	ー
施策の方向性（1）「ささえあい」の人づくり・地域づくりの推進	市民や事業者等が協働し地域課題の解決に取り組み、ささえあう地域となっています。	「困りごとを抱える人がいれば、声をかけたり、支援につなぐなど何か手助けをする」と答えた市民の割合。	①地域の活動（自治会活動、ボランティア活動、防犯・防災活動、見守り活動など）に参加している市民の割合 【市民意識調査】 ②地域活動を希望する市民と地域活動へのマッチング件数
施策の方向性（2）包括的な相談支援の推進	制度に基づいた支援やさまざまな地域資源と連携した伴走支援により、誰もが地域で孤立することなく、安心して暮らしています。	「生活上の困りごとがあれば、必要な支援につながることができるまち」だと感じる市民の割合。	①連携時に相談先がわからない支援関係者等（民生児童委員、保護司、相談支援機関）の割合 【地域福祉に関するアンケート調査（民生委員等へアンケート）】 ②権利擁護支援の一つである成年後見制度の内容を知っている市民の割合 【市民意識調査】

施策06 障害者支援

＜施策がめざす状態＞

障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もがその人らしく、自立し安心して暮らすことができています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができる環境づくり**
めざす状態	障害のある人やその家族が、必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができています。
取組項目	＃健康づくり支援 ＃自立した生活への支援
施策の方向性(2)	**生きがいを持って自分らしく暮らすことができる環境づくり**
めざす状態	障害のある人やその家族が、生きがいを持って自分らしく暮らすことができています。
取組項目	＃育ち・学びへの支援 ＃就労支援 ＃住まいの確保や外出への支援 ＃地域交流・活動への支援
施策の方向性(3)	**共に支え合い、安心して暮らすことができる環境づくり**
めざす状態	障害の有無にかかわらず誰もが、共に支え合い、安心して暮らすことができています。
取組項目	＃安心した暮らしへの支援 ＃権利擁護に向けた支援 ＃情報取得・伝達への支援

居場所に言及しなくてよいか
行政による直接的な支援のみの印象（大永）

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ 【障害福祉サービスの提供と相談支援】地域生活に必要な障害福祉サービス、相談支援の取組が進み、利用者数は増加傾向にあります。また、セルフプラン（相談支援専門員ではなく利用者本人や家族が作成する計画）の導入により、多くの利用者がサービス等利用計画・障害児支援利用計画を策定しています。引き続き、サービスの提供体制の維持や相談支援体制の質的向上を推進しつつ、制度の持続可能性の確保とサービスの質の維持を両立させる必要があります。（施策の方向性(1)(2)）

○ 【医療的ケア児とその家族への支援】医療的ケア児在宅レスパイト事業など、医療的ケア児やその家族に対するレスパイト支援の取組を進めています。引き続き、関係機関と連携し、医療的ケア児をはじめ、重度障害者とその家族を支えるための取組を進める必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【就労支援】障害者就労・生活支援センターの設置や障害福祉サービスの活用など、障害者向けの就労支援を行うことで、働く機会の確保を進めてきました。引き続き、障害者の多様な就労への支援に取り組む必要があります。（施策の方向性(2)）

○ 【住まいの支援】日中サービス支援型グループホームの整備補助やバリアフリー改修等に要する費用助成など、グループホームの整備に向けた支援を行うことで、住まいの確保を進めてきました。引き続き、重度障害者を受け入れることのできるグループホームの整備を促進する必要があります。（施策の方向性(2)）

○ 【手話の普及・啓発】手話通訳者養成講座の拡充やカリキュラムの見直しなど、手話通訳者の資格取得への支援や手話通訳者派遣事業の登録者数増への取組を進めています。引き続き、運用変更での効果検証を行うとともに、更なる見直しや手話の普及・啓発に向けた検討を進める必要があります。（施策の方向性(3)）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「障害のある人にとって暮らしやすいまち」だと感じる市民の割合

基準値 ○○.○%（R8） 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	**必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができる環境づくり**		
代表指標	「障害のある人が必要な支援を受けやすいまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(2)	**生きがいを持って自分らしく暮らすことができる環境づくり**		
代表指標	「障害のある人が、就労や地域活動など社会に参加しやすいまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(3)	**共に支え合い、安心して暮らすことができる環境づくり**		
代表指標	「障害のある人が暮らしやすいまちにするために、自分もできることがあると思う」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策06 障害者支援　補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もがその人らしく、自立し安心して暮らすことができています。	「障害のある人にとって暮らしやすいまち」だと感じる市民の割合。	―
施策の方向性（1） 必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができる環境づくり	障害のある人やその家族が、必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができています。	「障害のある人が必要な支援を受けやすいまち」だと感じる市民の割合。	①障害福祉サービス及び障害児通所支援事業の支給決定者数 ②サービス等利用計画（障害児支援利用計画含む。セルフプラン除く。）の作成率
施策の方向性（2） 生きがいを持って自分らしく暮らすことができる環境づくり	障害のある人やその家族が、生きがいを持って自分らしく暮らすことができています。	「障害のある人が、就労や地域活動など社会に参加しやすいまち」だと感じる市民の割合	①尼崎市障害者就労・就労定着支援センターみのり（※）を通じた就労者数 ※尼崎市在住の障害者の方を対象とした就労についての相談窓口 ②日中サービス支援型グループホームの定員数 ③身体障害者福祉会館・身体障害者福祉センターの利用者数
施策の方向性（3） 共に支え合い、安心して暮らすことができる環境づくり	障害の有無にかかわらず誰もが、共に支え合い、安心して暮らすことができています。	「障害のある人が暮らしやすいまちにするために、自分もできることがあると思う」と答えた市民の割合	①障害に対する市民の理解が進んできていると感じている障害当事者の割合 【当事者アンケート】

施策 07　高齢者支援

＜施策がめざす状態＞

高齢者が尊厳を保ち、安全・安心に健康で多様な暮らし方ができています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	介護予防の取組や認知症施策の推進
めざす状態	高齢者が介護予防や認知症への理解を深め、必要な支援につながりながら、自分らしく暮らしています。
取組項目	＃介護予防の普及啓発　＃自発的なフレイル対策促進　＃認知症施策の推進
施策の方向性(2)	高齢者の社会参加の促進や介護サービスの基盤づくり
めざす状態	高齢者が地域で役割や生きがいを持ち、介護が必要になっても安心して暮らしています。
取組項目	＃社会参画の促進　＃介護サービスの基盤整備と担い手づくり

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ 【介護予防活動の推進】住民主体による介護予防の普及啓発やフレイル予防の意識醸成は、いきいき百歳体操等の取組を通じて行ってきましたが、今後は、それらの取組を継続することに加え、地域資源の活用や専門職の介入する効果的なフレイル予防等の取組についても、引き続き内容等の検討が必要です。（施策の方向性(1)）

○ 【認知症施策の推進】認知症の正しい理解の普及や、認知症の人やその家族を支える「チームオレンジ尼崎」の活動等の継続が必要です。（施策の方向性(1)）

○ 【高齢者の社会参加の促進】高齢者の社会参加促進策の一環として、生きがい就労事業等の各集いの場の充実に向けた取組を行ってきましたが、今後は、それらの取組を継続することに加え、各取組の連携をより一層強化し、各事業の参加者の状態等に応じた適切な場へつながるような仕組みづくりが必要です。（施策の方向性(2)）

○ 【持続可能な介護サービスの提供】高齢者を支える担い手の確保やサービス基盤確保・質の向上についても、継続して取組が必要です。（施策の方向性(2)）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「高齢になっても自分らしく暮らすことができるまち」だと感じる市民の割合

基準値 ○○.○%（R8） 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	**介護予防の取組や認知症施策の推進**		
代表指標	「高齢者が介護予防や認知症予防に取組みやすいまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(2)	**高齢者の社会参加の促進や介護サービスの基盤づくり**		
代表指標	「高齢になっても地域で生きがいを持って暮らすことしができるまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策07 高齢者支援　補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	高齢者が尊厳を保ち、安全・安心に健康で多様な暮らし方ができています。	「高齢になっても自分らしく暮らすことができるまち」だと感じる市民の割合。	―
施策の方向性(1) 介護予防の取組や認知症施策の推進	高齢者が介護予防や認知症への理解を深め、必要な支援につながりながら、自分らしく暮らしています。	「高齢者が介護予防や認知症予防に取組みやすいまち」だと感じる市民の割合。	①いきいき百歳体操(※)の登録者数 ※継続的に、身近な地域で気軽に参加できる健康体操 ②認知症サポーターの数
施策の方向性(2) 高齢者の社会参加の促進や介護サービスの基盤づくり	高齢者が地域で役割や生きがいを持ち、介護が必要になっても安心して暮らしています。	「高齢になっても地域で生きがいを持って暮らすことしができるまち」だと感じる市民の割合。	①高齢者ふれあいサロン（※）の登録者数 ※地域の高齢者や住民が中心となって運営する高齢者のための集いの場所で、だれでも気軽に立ち寄ることができる交流スペース。 ②地域包括支援センターの認知度 【市民意識調査】

居場所への言及

自身に合った居場所、居場所のバラエティ

施策 08　健康支援・生活衛生

＜施策がめざす状態＞

だれもが、心身ともに健康で、安全・安心にいきいきと暮らすことができています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**ライフステージに応じた健康づくりの推進**
めざす状態	だれもが生活習慣病のリスクを理解し、健康で自立した生活が送れています。
取組項目	＃生活習慣病予防の推進　＃望ましい生活習慣の早期獲得の推進 ＃健診・検診の推進（発症及び重症化予防、介護予防）　＃オーラルフレイル予防
施策の方向性(2)	**地域で取り組む健康づくりの推進**
めざす状態	地域や団体など社会全体の支えにより、だれもが心身ともに健康でいきいきと暮らしています。
取組項目	＃健康づくりに係る取組の推進　＃食育の推進　＃心身の健康回復のための支援 ＃アスベスト健康被害に係る取組の推進　＃たばこ対策の推進
施策の方向性(3)	**健康で安全・安心なくらしを確保するための体制の充実**
めざす状態	だれもが感染症や生活衛生上の危機から守られ、安全・安心に暮らしています。
取組項目	＃感染症予防対策等の推進　＃有事における休日夜間急病診療所の活用 ＃食の安全・安心の推進　　＃動物愛護行政の推進と多頭飼育問題の未然防止

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○　【健康づくりの推進】生活習慣病予防に向け、市民の健康づくりに取り組んできましたが、健・検診の受診率は依然として低い水準にあります。健康寿命の延伸のため、データを活用した施策の推進や受診機会の創出、歯・口腔の健康を含めたライフステージに応じた健康づくりに取り組む必要があります。（施策の方向性(1)）

○　【たばこ対策の推進】受動喫煙の防止や喫煙ルールの遵守につなげるため、路上喫煙禁止区域の指定や喫煙所の設置、県・市条例の周知に取り組んできましたが、条例認知度は目標値に達していません。引き続き、市民や事業者に対し、喫煙ルールや健康への影響を周知・啓発する必要があります。（施策の方向性(2)）

○　【アスベスト対策】健康被害に対する市民の不安解消に向け、検診等の受診勧奨により疾患の早期発見・治療を図ってきましたが、中皮腫の患者は一定数発生しています。今後も、検診の受診勧奨や健康管理制度の構築、救済制度の充実に向けた国への要望、アスベスト問題を風化させない取組を進める必要があります。（施策の方向性(2)）

○　【休日夜間急病診療所の活用】新たな休日夜間急病診療所の開設により、一次救急医療体制の充実を図りました。今後は有事における施設の活用方法について、関係機関と連携しながら検討を進める必要があります。（施策の方向性(3)）

○　【動物愛護等の取組】人と動物の共生社会の実現に向け、適正飼養の啓発や TNR 活動の促進等に取り組んできましたが、動物に関する地域トラブルは後を絶ちません。今後もこれらの取組を継続するほか、野良猫の発生を抑制する効果的な手法や多頭飼育問題の未然防止に向けた啓発・支援策を検討する必要があります。（施策の方向性(3)）

○　【感染症対策の推進】新興感染症等の発生に備えた平時からの体制整備や結核罹患率の減少等に取り組んできましたが、結核罹患率は高い水準で推移しています。引き続き、結核をはじめとする感染症の発生予防やまん延防止に向け、より効果的な取組を検討する必要があります。（施策の方向性(3)）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「心身ともに健康な状態である」と答えた市民の割合

基準値 ○○.○%（R8） 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	**ライフステージに応じた健康づくりの推進**		
代表指標	「自身にあった健康づくりに取り組んでいる」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(2)	**地域で取り組む健康づくりの推進**		
代表指標	「暮らしている地域では、健康づくりの取組が盛んである」と感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(3)	**健康で安全・安心なくらしを確保するための体制の充実**		
代表指標	「感染症や生活衛生面で不安なく暮らすことができている」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策08　健康支援・生活衛生　補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	だれもが、心身ともに健康で、安全・安心にいきいきと暮らすことができています。	「心身ともに健康な状態である」と答えた市民の割合。	①健康寿命の延伸 （健康寿命と平均寿命の差）
施策の方向性（1） ライフステージに応じた健康づくりの推進	だれもが生活習慣病のリスクを理解し、健康で自立した生活が送れています。	「自身にあった健康づくりに取り組んでいる」と答えた市民の割合。	①特定健診（※）受診率 ※国民健康保険に加入している40～74歳の方を対象とした健康診断。 生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症など）の早期発見と予防を目的としている。 ②保健指導（※）実施率 ※特定健診を受けた方で、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による 生活習慣病の予防効果が期待できる方を対象に行うもの ③肺がん検診の受診率
施策の方向性（2） 地域で取り組む健康づくりの推進	地域や団体など社会全体の支えにより、だれもが心身ともに健康でいきいきと暮らしています。	「暮らしている地域では、健康づくりの取組が盛んである」と感じる市民の割合。	①食育に関心のある人の割合 【市民意識調査】 ②自殺による死亡率（人口10万人対） ③受動喫煙の防止や歩きたばこ等の禁止を規定する条例の認知度 【市民意識調査】
施策の方向性（3） 健康で安全・安心なくらしを確保するための体制の充実	だれもが感染症や生活衛生上の危機から守られ、安全・安心に暮らしています。	「感染症や生活衛生面で不安なく暮らすことができている」と答えた市民の割合。	①結核罹患率（人口10万人対） ②猫の路上死数

行政運営 02 【人材育成・組織体制】“人”を起点に行政運営の実効力を高める

＜施策がめざす状態＞

一人ひとりの職員が働きがいを持っていきいきと働き、公正で信頼される行政運営が行われています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**一人ひとりの成長が支える適正な行政運営**
めざす状態	職員が個々の経験やスキルに応じて自律的に成長し、適正・適法かつ効果的に業務を行っています。
取組項目	＃全体の底上げ+個に応じた育成　＃管理職のマネジメント力向上 ＃実効性ある適正運営
代表指標	「私は、職員としての成長に必要な知識・スキル習得に向けて行動している」と答えた職員の割合
基 準 値	R8：○○．○%　　指標の方向性　↑
施策の方向性(2)	**職員の“働きがい”を支える職場環境の実現**
めざす状態	“働きやすさ”＋“やりがい”を両立した職場環境を実現し、職員が個々の持ち味を発揮して前向きに働いています。
取組項目	＃攻めの採用　＃定着支援　＃キャリア形成支援　＃職員を支える職場環境づくり ＃“働きやすさ”＋“やりがい”＝“働きがい”
代表指標	「私は、現在の仕事にやりがいを感じている」と答えた職員の割合
基 準 値	R8：○○．○%　　指標の方向性　↑

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○　【職員の育成】職員構成が多様化する中、組織全体の基礎力向上を土台としつつ、今後は個々のスキルや経験値も踏まえた人材育成に取り組む必要があります。（施策の方向性(1)）

○　【内部統制】内部統制の基盤となる仕組みを整えてきましたが、今後は人材育成の一環として、不適切事例の”原因理解”を深め、現場での実践の定着につなげる必要があります。（施策の方向性(1)）

○　【人材確保】採用枠の拡充などの戦略的な採用活動を行ってきましたが、専門職の確保に引き続き注力していく必要があります。（施策の方向性(2)）

○　【定着促進】やりがいや働きやすさを支える制度設計やキャリア支援などの戦略的な人事管理のもとで人材の定着・活躍を促進し、職員の力が最大限発揮される環境づくりを進める必要があります。（施策の方向性(2)）

行施運営02　人材育成・組織体制　補完指標一覧

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	一人ひとりの職員が働きがいを持っていきいきと働き、公正で信頼される行政運営が行われています。	－	ー
施策の方向性⑴ 一人ひとりの成長が支える適正な行政運営	職員が個々の経験やスキルに応じて自律的に成長し、適正・適法かつ効果的に業務を行っています。	「私は、職員としての成長に必要な知識・スキル習得に向けて行動している」と答えた職員の割合	①職員の知識・スキルの習得、活用についての人事評価平均点 ②コンプライアンスについての人事評価平均点
施策の方向性⑵ 職員の“働きがい”を支える職場環境の実現	“働きやすさ”＋“やりがい”を両立した職場環境を実現し、職員が個々の持ち味を発揮して前向きに働いています。	「私は、現在の仕事にやりがいを感じている」と答えた職員の割合	①30代職員の退職率

行政運営 04 【DX】「共創型スマートシティ」の実現

＜施策がめざす状態＞

デジタル技術の活用を通じて、市民と行政が共創しながら、市民サービスの向上と行政運営の効率化・高度化が実現しています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	DX を通じた市民サービスの向上
めざす状態	デジタル技術を活用し、多様な主体がつながることで新たな価値が創出され、誰もが暮らしの利便性を実感できています。
取組項目	#デジタル市役所の実現 #共創に向けたオープンデータの公開、活用推進 #デジタルデバイド対策の推進
代表指標	「尼崎市のデジタルを活用した行政サービスに満足している」と答えた市民の割合
基 準 値	R8：○○．○%　　指標の方向性　↑
施策の方向性(2)	**DX を通じた行政運営の効率化・高度化**
めざす状態	デジタル技術を活用し、職員の減少や働き方の変革などの環境変化に対応できる業務効率的・効果的な行政運営を実現しています。
取組項目	#BPR（業務プロセス改革）の推進と、AI・データ利活用 #デジタル人材の確保・育成 #可用性の高い情報インフラ・セキュリティの整備
代表指標	「デジタル技術の活用により、業務を効率的に進められている」と答えた職員の割合
基 準 値	R8：○○．○%　　指標の方向性　↑

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ 【市民サービス向上】市民の利便性向上に向けて、個別ニーズに合わせた情報を届け、活用出来る仕組みの確立や、オンライン申請・相談の拡充などを含めたデジタル市役所の実現、市民の暮らしを支えるための各種 DX を進めつつ、誰もが利便性を実感できる活用支援を進めていく必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【業務効率化・高度化】内部事務の効率化に取り組む中で、各所属では一定の業務効率化が進みつつありますが、更なる改革を目指した組織横断的な検討を進める必要があります。また、生成 AI 等の業務改善ツールを導入してきましたが、昨今の急速な技術革新を踏まえ、今後も最適なツールを継続的に取り入れていく必要があります。（施策の方向性(2)）

○ 【情報インフラ・セキュリティ】人的・技術的・物理的の三面でのセキュリティ対策を確立してきましたが、新たに発生する脅威等に対応できるよう、対策は常に向上し続ける必要があります。また、今後のデジタル分野のニーズの増加や技術変化に対応できる、ネットワーク環境の整備を行う必要があります。（取組の方向性(2)）

○ 【人材育成】各局における DX 推進リーダーの設置や、デジタル人材・高度専門人材の採用を進めてきましたが、今後の技術進化に対応し続けるためには、継続的な育成と人材確保、変革を受け入れる職場風土の醸成などを進める必要があります。（施策の方向性(2)）

行施運営04　DX　補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	デジタル技術の活用を通じて、市民と行政が共創しながら、市民サービスの向上と行政運営の効率化・高度化が実現しています。	－	―
施策の方向性⑴ DXを通じた市民サービスの向上	デジタル技術を活用し、多様な主体がつながることで新たな価値が創出され、誰もが暮らしの利便性を実感できています。	「尼崎市のデジタルを活用した行政サービスに満足している」と答えた市民の割合	①オンライン申請手続数・申請利用数 ②社会全体のデジタル化に適応できていると答えた市民の割合 【市民意識調査】
施策の方向性⑵ DXを通じた行政運営の効率化・高度化	デジタル技術を活用し、職員の減少や働き方の変革などの環境変化に対応できる業務効率的・効果的な行政運営を実現しています。	「デジタル技術の活用により、業務を効率的に進められている」と答えた職員の割合	①業務改善時間 （各種DXツールにより改善された業務時間） ②平均超過勤務等時間 ③情報セキュリティ外部監査における指摘項目の改善割合